

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
感染予防対策学びの空間確保事業	① 村内小中学校児童生徒の机に拡張天板を設置することにより、生徒児童間の距離を確保し、また消毒液を配布し手指消毒を行うことで、新型コロナウイルス感染リスクを軽減させることができる。 ② 机の天板、消毒液の購入費に充当	R4.6	R4.8	1,245,110	1,245,000	村内小中学校に、机拡張天板76組、消毒液を設置した	児童生徒の机に拡張天板を設置したことで、児童間の距離を確保し感染リスクを軽減させることができた。また、消毒液を配付したことで、手指消毒の徹底が図られた。
社会教育施設感染対策環境整備事業	① 社会教育施設に空調設備等を設置し、換気機能の向上や飛沫感染対策を図ることにより、新型コロナウイルス感染リスクを軽減させる。 ② 社会教育施設の空調等設置費用に充当	R4.4	R4.7	462,880	462,000	歴史民俗資料館と山江村体育館にエアコン1基、パーテーション、空気清浄機各1台を設置した	施設に空調設備を設置したことにより、換気機能を向上させることができた。また、空気清浄機の設置により飛沫感染対策を図ることができ、感染リスクを軽減させることができた。
こどもの夢(スポーツ)継続活性化事業	① コロナ禍の自粛生活により子供たちがスポーツに参加する機会が減少し体力低下が懸念されるため、村内児童生徒を対象にスポーツ能力測定会及び元・現役オリンピックなどのトップアスリートの講演を実施し、子供たちのスポーツへの関心を高め、子供たちの体力向上を図る。 また、本村総合型地域スポーツクラブや体育協会等と連携し、コロナ禍においても本村児童生徒への継続的なスポーツ実施へのアプローチを行っていくもの。 ② スポーツ能力測定会の開催費用、トップアスリートを招へいする費用に充当	R4.6	R4.10	1,699,500	1,699,000	村内小学生を対象に、体力向上に向けて、トップアスリートを招致し、スポーツテストを実施した	自粛生活によって低下した体力を、スポーツテストを実施したことにより、体力の見える化を可能としたことで、体力向上を図ろうとする子どもたちの意欲の向上につながった。
地図情報システム整備事業	地図情報システム整備事業 ① 保守業務が遠隔操作で行えることから、保守による業者の来庁が不要となり、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減することができる。 ② システムの初期構築等に充当する。	R4.4	R4.6	2,841,520	2,841,000	地図情報システムの保守遠隔操作業務を整備した	保守業務を遠隔で操作可能となったことから、感染リスクの軽減を図ることができた
在宅ワーク人材育成事業	① コロナ禍の新しい働き方として、在宅でも企業等からの仕事を請け負う在宅ワーカーの育成研修を開催し、研修終了後は就労支援を行う。 ② 在宅ワーカー育成研修にかかる委託料	R4.4	R4.12	1,876,600	1,876,000	在宅ワーカーを目指す人材の育成研修を開催した	在宅での新しい働き方として在宅ワーカーの育成ができた
RVパーク環境整備事業	① 新型コロナウイルス感染リスクを回避するため仕事や生活のライフスタイルが変化していく中、ニーズが高まっている屋外レジャーの一つ、「車泊」の環境整備を行いwithコロナに対応した観光入込客数の増加を図って地域活性化に繋げる ② 給電装置、案内看板、通信機器の整備工事、車泊ポータルサイト設定費用に充当する	R4.4	R4.9	1,577,760	1,577,000	密を避け、屋外レジャー「車泊」を楽しむことができるようRVパークを整備するため、給電装置2基、案内看板設置、無人チェックインシステムの導入を行った。	密をさけつつ、withコロナに対応した観光の環境整備を実施したことにより、コロナ禍でも観光客を呼び込むことができた
公衆浴場施設衛生管理事業	① 施設内での新型コロナウイルス感染症リスクを減らし、衛生的な温泉を利用者へ提供するため定期的な自動消毒が可能な機器の整備をする ② 機器設置工事に充当する	R4.4	R4.8	4,928,000	4,928,000	衛生的な温泉を利用者へ提供するため、定期的な消毒を可能とする自動消毒水位計装置を設置した	衛生的な環境整備ができたことで、安心して入浴することができ、また、感染のリスクを軽減することができた
地域コミュニティ応援事業	① コロナ禍において各行政区が安心して地域活動を行うため、地域自らが取組む感染症防止対策及び新生活様式となり新たに地域活動に必要な備品等の購入経費に対する助成。 補助対象経費の10/10を助成。上限額は100,000円。 ② 各行政区が地域活動において必要とするコロナ対策関連の消耗品や備品。	R4.4	R4.12	1,600,000	1,600,000	16地区に10万円を上限に助成した	コロナ禍における新生活様式に対応した地域活動ができるようになった
分散業務推進及び指定避難所強化事業	分散業務推進及び指定避難所強化事業 ① コロナ禍において庁舎内及び隣接する施設内でのリモート会議及び分散業務の体制整備を充実させ、更に避難所となる施設の充実強化を図る。 ② WIFI機器の整備にかかる経費	R4.4	R5.3	7,579,939	7,579,000	公共施設7か所(山江役場庁舎、改善センター、健康の駅、山江村体育館、山江中学校、山田小学校、自然休養村管理センター)に公衆無線LANの構築をした	wifiの整備により、分散業務の推進及び、避難所機能の強化を図られたことで、施設内の感染リスクを軽減することができた
感染予防対策校内ライブ放送化事業	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、多人数を1か所に集めずに分散させた授業や学校行事等に電子黒板や実物投影機を活用した校内ライブ放送を導入するもの。 ② 備品等購入費及び消耗品費に充当	R4.4	R4.5	7,154,180	7,154,000	電子黒板19台、実物投影機1台を村内小中学校に整備した	校内ライブ放送の導入により、感染拡大防止に繋がった
公衆浴場空調設備改修事業	① コロナ禍において温泉利用客が安心して施設を利用できるよう、空調設備を空気清浄機能付き等機器に改修し、施設機能強化を図る。 ② 改修工事に充当する	R4.4	R4.7	12,815,000	12,815,000	空気清浄機能付き空調設備6基を整備した	空気清浄機能付き空調の導入により利用者等の感染リスクの軽減につながった

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果(成果)
学校給食感染予防対策事業	①新型コロナウイルス感染症予防対策のため、冷凍庫を新たに購入する。食材を冷凍保存することで保存日数が延び、1回で受け入れる食材の量を増やすことが可能となり受け入れ回数を減らすことで、納品業者等の外部との接触を減らすもの。 ②食材を冷凍保存するための冷凍庫を購入する費用に充当	R4.4	R4.7	702,900	702,000	食材を冷凍保存するための冷凍庫を村内中学校に整備した	冷凍庫のどういにより、食材の保存期間が延び、納品業者等の外部接触を減らすことができたことにより感染リスクの軽減に繋がった
感染予防対策分散型学習事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、空き教室や空きスペースを利用して分散型授業を実施するため、机や椅子を購入するもの。また、空きスペースを利活用するため、屋外テラスを改修するもの。 ②机および椅子の購入費用、屋外テラスを改修工事する費用に充当。	R4.5	R4.8	1,853,775	1,853,000	村内中学校の生徒用机椅子50台購入及び屋外テラスを改修	分散型授業に対応できるよう整備したことで、感染リスクの軽減につながった
山江村体育館利用時の感染予防対策環境整備事業	①山江村体育館で各種会議を開催することにより、3密(密閉、密集、密接)を避け、新型コロナウイルス感染リスクを軽減するため、会議用長机を購入し、感染予防対策を図るための環境整備を行う。 折りたたみ机及び収納用台車の購入経費に充当 ②机10台(台車付き)161,700円×4セット	R4.7	R4.12	646,800	646,000	会議用長机 40台(台車付き)を購入した	施設に会議用備品を整備したことで、感染リスクの軽減につながった
令和4年度物価高騰に伴う保育所等副食費交付金事業	①コロナ禍において物価高騰等に直面する3歳以上児の保護者に対し、保育所の副食費を交付し生活を支援する。 対象児童の保護者に対して、令和4年度副食費相当額の支援金を交付する際の財源に充当する。 ②対象児童の保護者に対して、令和4年度副食費相当額の交付金を交付する際の財源に充当する。	R4.7	R5.3	2,272,500	2,272,000	村内在住の3歳以上児(但し、所得制限により既に免除を受けている児童を除く)の保護者等46名に対し支援した	コロナ禍での物価高騰に直面する保護者に対し、子育て費用を支援することができた
防災無線再送信子局整備事業	①防災無線不感地帯において地域役員が当該住民への緊急的な情報伝達的手段として直接訪問していたが、防災無線再送信子局を整備することで、住民との接触が減り、新型コロナウイルス感染リスクの軽減に繋がる。 ②防災無線の屋外中継局である再送信子局の整備に充当するもの	R4.7	R5.3	8,268,360	7,360,000	防災無線の屋外中継局(再送信子局装置)1か所を整備した	防災無線の中継局を整備したことで、住民との接触回数が減らすことで、感染リスクの軽減につながった
備蓄倉庫設置事業	①気象災害時における指定避難所への備蓄倉庫の設置、備蓄をおこなうことで避難所開設中の物品の搬入の必要がなく、避難者と搬入者の接触機会が減ることから新型コロナウイルス感染リスクの軽減に繋がる。 ②指定避難所への備蓄倉庫設置に係る経費に充当	R4.7	R4.12	572,979	572,000	指定避難所(山田小学校)に備蓄倉庫を1基設置した	備蓄倉庫設置により、物品の搬入による搬入者と避難者の接触機会を減らすことで感染リスクの軽減につながった
新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通事業者支援事業	①コロナ禍における原油価格や物価高騰による影響を受けながらも、住民生活や経済活動を支えている地域交通事業者に対し、事業者支援金を給付し、安定的な事業が維持できるよう支援を行う。 ②事業者への支援金	R4.7	R4.12	91,000	91,000	人吉・球磨10市町村で支援金500万円のうち91,000円をくま川鉄道(株)へ支援した	コロナ禍の原油価格等の高騰を受けている地域交通事業者に対し、支援することにより、住民生活や経済活動への支援に繋がった
物価高騰生活給付金事業_物価高騰分	①コロナ禍において原油価格・物価高騰により影響を受けている住民に対し給付金を支給し生活を支援する。 ②対象となる住民への給付金へ充当	R4.7	R4.9	24,300,000	24,300,000	R3年度世帯一人当たり所得200万円未満の住民に対し給付金を給付した10,000円×2,420人	コロナ禍の原油価格等の高騰を受けて住民に対し、支援することができた
物価高騰生活給付金事業_通常分	①コロナ禍において原油価格・物価高騰により影響を受けている住民に対し給付金を支給し生活を支援する。 ②対象となる住民への給付金や事務費へ充当	R4.7	R4.9	5,770,326	5,767,000	R3年度世帯一人当たり所得200万円未満の住民(482人)に対し、10,000円を給付	コロナ禍の原油価格等の高騰を受けて住民に対し、支援することができた
飲食店に対する営業時間短縮要請協力金負担金	①コロナ禍において営業時間短縮要請や休業に応じた飲食店に対して協力金を支給 ②補助金として充当	R4.7	R4.9	150,000	150,000	営業時間短縮要請協力金として村内事業所 1店舗に協力金を補助	営業時間短縮要請に協力した事業者を支援したことで、事業者の事業継続につながった
燃料高騰対策事業者応援事業	①コロナ禍において燃料費高騰に伴う収入の減少を補うため、本年4～9月に購入した燃料代に対し20%補助を、村内に住所を有し事業を営んでいるもの、又は村内に本社及び本店を有し事業を営んでいるものを対象に補助を行う。ただし、建設業など受注価格に燃料費を反映させる事業者及び他の同様の公的補助を受ける事業者を除く。 ②燃料費に対する補助金として充当	R4.7	R4.10	3,137,000	3,137,000	ガソリン等燃料を使用する11事業所に対し、燃料費に対し補助した	燃料高騰に伴う収入減少に対して支援したことで、事業者の事業継続に繋がった

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名	①事業概要 ②交付対象者	事業始期	事業終期	事業費(円)	うち交付金 (円)	事業実績	効果(成果)
畜産農家経営継続支援事業	①新型コロナウイルスによる外食産業の畜産物の需要の減少による価格の低下、海外情勢による原油価格の高騰に伴い、飼料価格が高騰している。これらのことから畜産農家が経営を継続するには厳しい状況にあり、経営継続のために支援を行う。 ②肉用牛、乳用牛、鶏の飼料の増加分に充当する。	R4.7	R4.12	6,214,100	6,214,000	畜産農家34軒に対し家畜飼料への支援を実施した。	飼料価格高騰への支援を行ったことで経営継続に繋がった
山江村省エネ家電等導入による生活支援事業	①コロナ禍において物価高騰等の影響を受けている家庭を支援するため、省エネ家電製品等の導入や買換えにより家庭におけるエネルギー費用負担の軽減を図り、生活を支援することを目的とする。 ②省エネ家電製品等の購入等に要する費用に対する補助金に充当する。	R4.11	R5.3	3,690,000	3,640,000	住宅に省エネ家電製品等の設置購入した87名に対し、5万円を上限に支援した	省エネ家電導入へ支援したことで、家庭の生活支援ができた
やまえ生活支援券	①コロナ禍において物価高騰する食糧費等の支援をするため、一人あたり5,000円分(100円×50枚)の商品券を配布。村内の事業者だけでなく人吉市内の地場スーパーでも使用可能とする。 ②商品券発行及び換金、事務費に充当	R4.11	R5.3	17,072,640	16,103,000	村内に住所を有する村民に対し、商品券を配布して生活支援を実施した	物価高騰する食糧費等の支援をするため、商品券を配布したことで、村民の生活支援ができた
学生等修学支援給付金事業	①コロナ禍において食料品等価格高騰による学生等の生活の負担を軽減するため、生活費(食費)を支援する。 ②9.教育費-1.教育総務費-2.事務局費-18.負担金補助及び交付金に充当。	R4.11	R5.3	1,050,000	1,050,000	山江村に住所のある、または、保護者が山江村に住所のある大学生及び専門学校生等33名に対し、食費高騰分への支援を実施した	食料品等の価格高騰により影響を受ける学生等へ支援することで、学生等の生活負担の軽減につながった
物価高騰に伴う高齢者世帯等生活支援交付金事業	①非課税世帯への給付金については、国の方針により幾度となく給付されてきたが、それ以外の高齢者についてもコロナ禍において物価高騰の影響により、日常の生活を圧迫しているため、国からの給付金を受給できていない高齢者を対象に交付金を交付し生活を支援する ②対象となる高齢者への交付金に充当	R4.11	R5.3	980,000	980,000	村内に住所を有し、国が給付する非課税世帯給付金を受給していない70歳以上の者、独居の高齢者及び高齢者のみ世帯の者、所得金額が145万円未満の者など98名に対し生活支援を実施した	物価高騰で生活に影響を受ける高齢者や低所得者の生活支援ができた
宿泊業者支援補助金事業_物価高騰分	①コロナ禍において原油価格や物価高騰等の影響を受け厳しい経営状況にある宿泊業者に、宿泊料金の割引プランの割引分を助成する。併せて宿泊者に対し村内で使用できるクーポン券を発行することで宿泊者の増加を図り宿泊業者の経営を支援する。 ②宿泊事業者支援補助金に充当	R5.1	R5.3	674,000	660,000	割引プランを実施する村内宿泊業者に対し、宿泊料の補助及び村内事業者に対し、クーポン券補助を実施した	物価高騰の影響を受け厳しい経営状況にある宿泊業者等へ支援することで、事業継続につながった
新型コロナウイルス感染症の早期検査事業	①新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットを感染の心配がある方や村内小中学校に配布する。感染状況を把握すること感染拡大防止を図り、地域住民が安心して生活できる環境や児童生徒が安心して学習できる環境を確保する。 ②抗原検査キットの購入	R5.1	R5.3	2,178,000	2,178,000	地域住民、村内学校関係者に対し、抗原検査キットを配付した	抗原検査キットを配付したことで、感染状況を把握することができ、感染拡大防止を図ることができた
物価高騰生活給付金事業_重点交付金分	①コロナ禍において原油価格・物価高騰により影響を受けている住民に対し給付金を支給し生活を支援する。 ②対象となる住民への給付金へ充当	R4.7	R4.9	450,000	450,000	R3年度世帯一人当たり所得200万円未満の住民に対し、一人当たり10,000円を給付した	コロナ禍の原油価格等の高騰を受けてた住民に対し、支援することができた
合計				123,854,869	121,901,000		